

2005年度第1四半期決算概況

2005年8月2日（火）
アステラス製薬株式会社

執行役員 財務経理本部長 永井 修



2005年度第1四半期決算のポイント

1. 売上高はほぼ横ばい・増益（先行送品の影響を除けば増収・増益）
2. 国内営業の堅調
3. 欧州事業の好調
4. 欧米における新製品の寄与
5. 売上およびコストにおけるシナジー効果の発現
6. 研究開発費の消化の遅れ

2005年度第1四半期決算概況

(億円)

| | 04.1Q | 05.1Q | | 05公表 | |
|-------|-------|-------|------|-------|-------|
| | 単純合算 | アステラス | 増減 | 中間期 | 通期 |
| 売上高 | 2,142 | 2,131 | -10 | 4,230 | 8,850 |
| 売上原価 | 675 | 620 | -54 | | |
| 売上総利益 | 1,466 | 1,510 | +43 | | |
| 販売管理費 | 615 | 623 | +7 | | |
| 研究開発費 | 308 | 235 | -73 | 640 | 1,350 |
| 営業利益 | 543 | 652 | +109 | 940 | 1,950 |
| 経常利益 | 607 | 686 | +79 | 970 | 1,990 |
| 特別損益 | 13 | -32 | -45 | | |
| 当期純利益 | 353 | 394 | +41 | 490 | 1,040 |

| 為替レート | 04.1Q | 05.1Q | 05公表 |
|-------|-------|-------|------|
| ドル | 110円 | 108円 | 105円 |
| ユーロ | 132円 | 136円 | 135円 |

売上高

(億円)

| | 04.1Q | 05.1Q | | 05公表 | |
|-----|-------|-------|-----|-------|-------|
| | 単純合算 | アステラス | 増減 | 中間期 | 通期 |
| 売上高 | 2,142 | 2,131 | -10 | 4,230 | 8,850 |
| 医薬品 | 2,096 | 2,096 | 0 | 4,145 | 8,695 |

【特殊要因】

- 前期末の合併先行送品の影響 119億円（第1四半期中に解消）
- 販売移管の影響 29億円（レスキュラ、ファロム、コレバイン等）
- 事業整理の影響 10億円（在宅等）
- 加工費の会計処理変更 17億円（加工費売上高と商品仕入高を相殺消去）

医薬品の実質ベースの売上高増加 164億円 (+7.7%)

原価・販売管理費・研究開発費

| | 04.1Q | 05.1Q | | 05公表 | |
|-------|-------|-------|----------|-------|-------|
| | 単純合算 | アステラス | 増減 | 中間期 | 通期 |
| 売上高 | 2,142 | 2,131 | -10 | 4,230 | 8,850 |
| 売上原価 | 675 | 620 | -54 | | |
| 原価率 | 31.5% | 29.1% | -2.4ポイント | | |
| 販売管理費 | 615 | 623 | +7 | | |
| 研究開発費 | 308 | 235 | -73 | 640 | 1,350 |
| 営業利益 | 543 | 652 | +109 | 940 | 1,950 |

■原価率改善

製品構成の変化 1.2ポイント改善
 海外自社品の売上拡大（プログラフ、ハルナール、Vesicare）
 国内の先行送品の反動の影響

原価低減 0.6ポイント改善
 会計処理変更 0.6ポイント改善

■販売管理費

海外販売促進費の増加（欧米での新製品発売関連費用等）
 人件費の減少

■研究開発費減少

セールPJの特許権臨時償却による償却費の減少
 （臨時償却は04年第2四半期に実施）
 共同研究の支払いの完了
 費用の支払いのタイミングのズレ

売上高の詳細 グローバル製品の状況

(億円)

| | 04.1Q | 05.1Q | 増減 | 05中間公表 | 05通期公表 |
|------------------|-------|-------|-----|--------|--------|
| ハルナール | 347 | 360 | +12 | 682 | 1,369 |
| プログラフ | 291 | 316 | +24 | 650 | 1,332 |
| プロトピック | 48 | 32 | -15 | 115 | 250 |
| ファンガード/ マイカミン | 31 | 41 | +10 | 85 | 183 |
| Vesicare | - | 19 | +19 | 60 | 172 |

- ハルナール欧州自販、欧州プログラフの好調
- 米国プロトピックの減少
- 新製品の寄与（欧米Vesicare、米国マイカミン）

国内主力製品の状況

公表 (億円)

| | 04.1Q | 05.1Q | 増減 | 送品影響** | 実質増減 | 05中間 | 05通期 |
|---------|-------|-------|-----|--------|------|-------|-------|
| 国内Rx売上高 | 1,160 | 1,074 | -85 | -119 | +34 | 2,208 | 4,552 |
| リピトール | 207 | 206 | 1 | 30 | +29 | 434 | 925 |
| ミカルディス | 53 | 78 | +25 | 20 | +45 | 145 | 328 |
| マイスリー* | 32 | 40 | +7 | | | 77 | 168 |
| ルボックス* | 22 | 24 | +1 | | | 55 | 116 |
| ガスター | 191 | 165 | 25 | 20 | 5 | 341 | 687 |
| ハルナール | 123 | 130 | +7 | 15 | +22 | 234 | 470 |
| セフゾン* | 46 | 41 | 4 | | | 91 | 193 |
| セロクエル* | 33 | 37 | +4 | | | 75 | 162 |
| ファンガード* | 31 | 37 | +6 | | | 74 | 160 |
| プログラフ* | 26 | 30 | +4 | | | 63 | 137 |

注：* 製品の04年第1四半期の売上高の実績は決算ベース。それ以外の製品と05年第1四半期の実績は仕切価ベース。

**合併に伴う受注・配送システムの一時的停止に備えた製品の出荷が3月末に発生したため、今第1四半期に対する影響額を示したものです。

所在地別売上高

単純合算

実績

(億円)

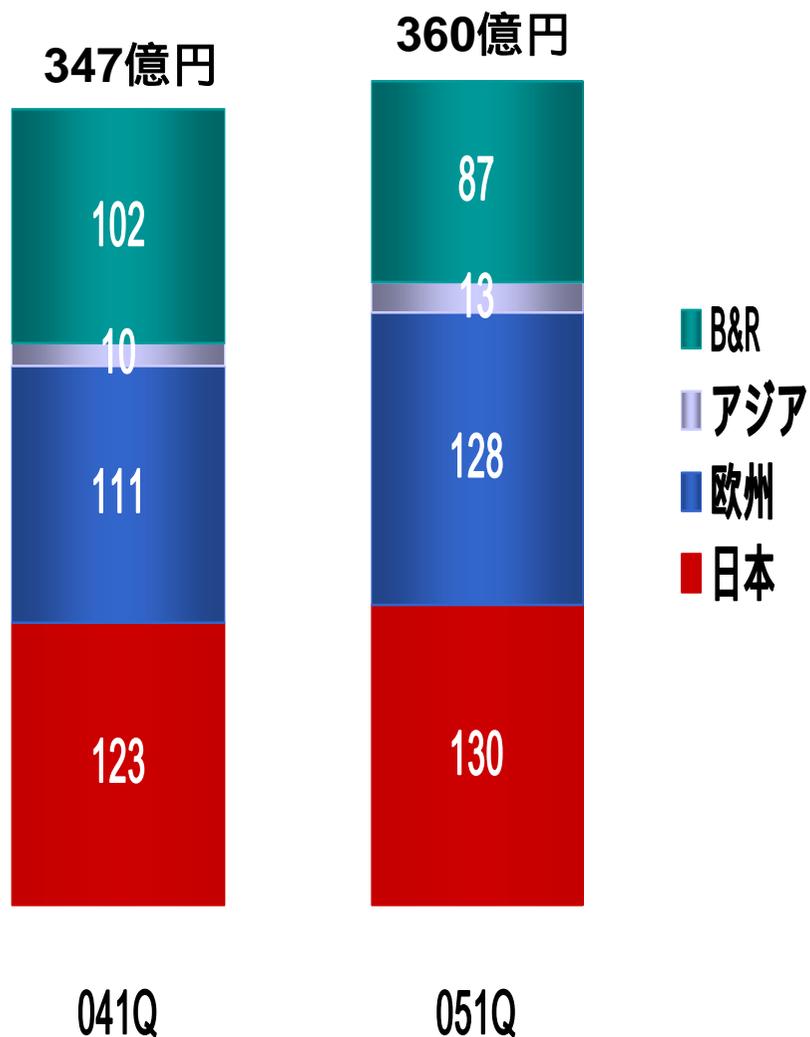
| | 04.1Q | 05.1Q | 増減 | 増減要因 |
|-----|-------|-------|-----|---|
| 連 結 | 2,142 | 2,131 | -10 | |
| 日 本 | 1,354 | 1,274 | -80 | 先行送品の反動 -119 事業整理 -10 販売移管 -29 輸出外部売上 +14 加工費会計処理変更 -17 |
| 北 米 | 302 | 310 | +8 | プログラフ + 3 アデノスキャン - 2 GPDC* +10 プロトピック - 13 VESicare + 6 マイカミン + 3 *04年2Qに会計処理方法を変更 |
| 欧 州 | 448 | 503 | +54 | ハルナール + 3 (欧州自販は+17) プログラフ +12 Vesicare +13 Eligard + 2 その他 +24 |
| アジア | 37 | 43 | +6 | ハルナール +2 プログラフ +3 |

所在地別営業利益

(億円)

| | 04.1Q | 05.1Q | 増減 | 増減要因 |
|-----|-------|-------|------|---|
| 連 結 | 543 | 652 | +109 | |
| 日 本 | 438 | 507 | +69 | 売上総利益の減少（主として先行送品の反動） 研究開発費の減少 52億円 経費の減少（含む人件費） 58億円 |
| 北 米 | 77 | 56 | -21 | 売上総利益の増加 研究開発費の減少 6億円 経費の増加 34億円 （泌尿器は10億円） |
| 欧 州 | 27 | 75 | +48 | 売上総利益の増加 30億円 経費の増加 （北米泌尿器分は5億円） |
| アジア | 7 | 9 | +2 | ハルナール、プログラフの増加 |

売上高の推移



05.1Qの状況

1.日本 売上高：130億円

■先行送品の影響 -15億円

■ハルナールD錠 27億円 6月14日発売

2.欧州 売上高：128億円

■TOCAS: 欧州5ヶ国(含むドイツ)で発売
好調に推移

■発売予定: UK・フランス・スペイン等(3Qまで)

3.バルクロイアルティ 売上高：87億円

■前年同期の売上の一時的増加の反動

■BIとのコプロモーションは順調に進展

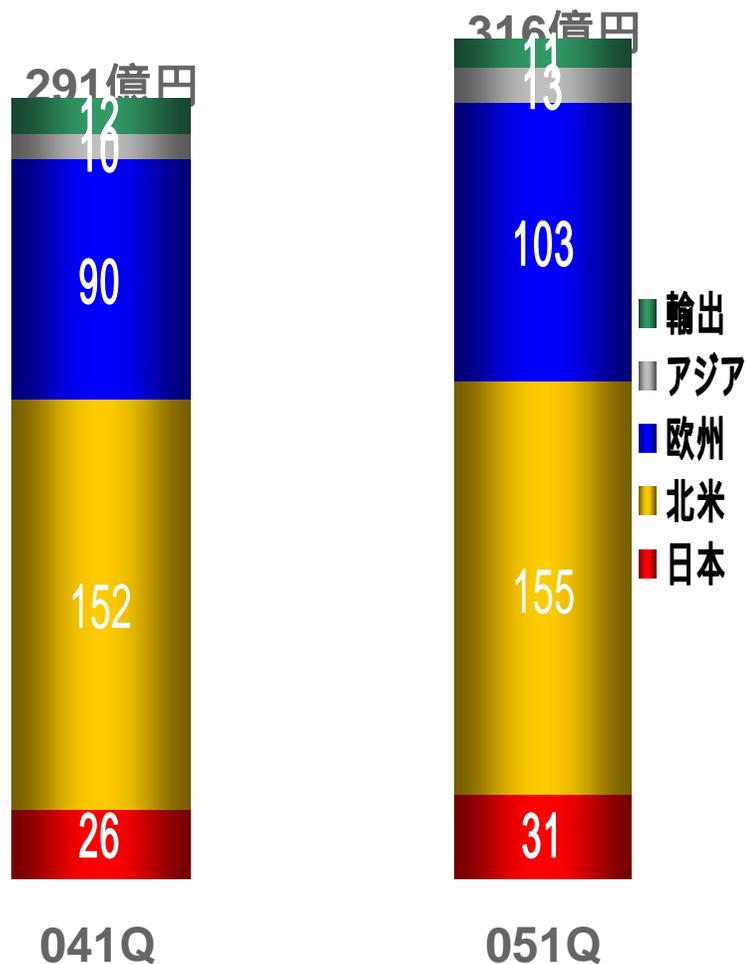
■IMS売上(+12%、1-5月)*

■TRx、NRxも好調に推移

■米国Flomaxの売上：\$226MM(+12%、4-6月)

*出典:IMS

売上高の推移



05.1Qの状況

1.日本 売上高：31億円

■順調に推移

2.北米 売上高：155億円

■TRxで05年2月以降 PRGがall CyAを凌駕
 ■卸在庫月数の短縮
 ■実需ベースは好調に推移

3.欧州 売上高：103億円

■上期予想に対する進捗は53%と好調

4.アジア 売上高：13億円

■中国・韓国で順調に伸長

5.輸出外部売上 売上高：11億円

日本の状況

1. 第1四半期売上高 37億円

2. 注射用抗真菌剤市場で引き続き
トップシェアを獲得

■IMS市場シェア

05年4-6月 53.4%*

3. 小児申請中

■2005年度下期に承認見込

*出典:IMS

米国の状況

1. 第1四半期売上高 3億円

2. 5月12日新発売

3. 今後の売上拡大策

移植MRと病院MRによる自販体制

Rocheとのコプロモーション

フォーミュラリーへの早期収載

学会発表 ICAAC (2005年9月)

米国食道カンジダPhaseIII成績

米国の状況

1.第1四半期売上高 6億円
発売時の流通在庫の影響により
売上は低水準にとどまったが、
7月単月では計画線で推移している

2.新規処方箋シェア 5.2%*
総処方箋シェア 3.4%*
* 競合する新製品を上回る推移

3.今後の売上拡大策
GSKとのコプロモーション活動の強化
DTCの実施

欧州の状況

1.第1四半期売上高 13億円
2.発売国 欧州14ヶ国
3.市場シェア：9%*
4. 2005年末までに主要国での
発売完了

STAR試験結果の活用

学会発表

IUGA (2005年8月)

ICS (2005年8-9月)

論文

European Urology 受理

国内営業 好調なシナジー製品の売上

リピートール

ミカルデイス

- アステラス統合効果 2500人のMRによるディテール活動の展開
- パートナーとのコプロモーション

- スタチン市場でのシェア*：
05.1Q 37.5% 04年度35.8%
第1位をキープ
- 売上成長率 +15.1%* (薬価ベース)
- 統合効果：物量の増加
05.1Q +15% 04年度 +10%

- ARB市場でのシェア*：
05.1Q 10.2% 04年度8.6%
- 売上成長率 +73.1%* (薬価ベース)
- 統合効果：
ARB市場成長率(23.9%*)・
先行薬を大幅に上回る高い成長力
順調なシェアの拡大

*出典：IMS

総合的な株主還元とDOE水準の改善

- (1) 配当水準の安定的向上
- (2) 機動的な自己株式取得による資本効率の改善

今回の実施内容

自己株式の取得

- 実施： 2005年8月3日～8月31日
- 取得予定： 500万株（上限）
- 取得金額： 210億円（上限）
- 今期配当予定： 60円

今期DOE予想： 約3.0%

注意事項

資料中の業績見通し数値及び開発見通し等は、現時点において入手可能な情報から得られた当社経営陣による判断に基づくものですが、重大なリスクや不確実性を含んでいる情報から得られた多くの仮定及び考えに基づきなされたものであります。実際の成果は、さまざまな要素によりこれら業績見通し、開発見通し等とは大きく異なる結果となり得ることをご承知おき下さい。

実際の業績に影響を与える要素には、経済情勢の悪化、為替レートの変動、法律・行政制度の変化、新製品上市の遅延、競合会社の価格・製品戦略による圧力、当社既存及び新製品の販売力の低下、生産中断、当社の知的所有権に対する侵害、重大な訴訟における不利な判決等がありますが、これらに限定されるものではありません。

医薬品(開発中の物を含む)に関する情報が含まれておりますが、その内容は宣伝広告、医学的アドバイスを目的としているものではありません。